

学校保健

SCHOOL HEALTH

2021. 3 No. **347**

公益財団法人
JSSH 日本学校保健会
JAPAN SOCIETY OF SCHOOL HEALTH

<http://www.hokenkai.or.jp/>

地域と連携した児童生徒の健康づくりの推進に特色ある学校を評価

令和
2年度

全国健康づくり推進学校表彰

主な誌面

令和2年度全国健康づくり推進学校表彰
最優秀校紹介・講評……………2〜3
特集 学校保健とヘルスリテラシー
児童生徒の生活習慣とヘルスリテラシー……………4〜5
シリーズ「健康教育をささえる」
保健主事の役割と全国組織……………6〜7

令和元年度全国健康づくり推進学校表彰校の実践⑥
兵庫県立こばと聴覚特別支援学校……………8
コロナ禍での学校行事への学校医の関わり方……………10
令和3年度全国及び各ブロック大会日程一覧……………12
令和2年度日本学校保健会賛助会員一覧……………13



岩手県二戸市立福岡小学校



岐阜県岐阜市立三輪南小学校



岐阜県山県市立桜尾小学校



群馬県高崎市立倉淵中学校



鳥取県立鳥取商業高等学校



愛知県立三好特別支援学校

本年度は緊急事態宣言発令により表彰式並びに実践事例発表会は中止となりましたが、日本学校保健会 HP に最優秀校の実践発表動画を公開しています。ぜひご覧いただき、自校での健康教育にご活用ください。

http://hokenkai.or.jp/hyosyo/2021_commendation.html 【要登録】



回覧

校長	教頭	保健主事	養護教諭	保健委員	学校保健員	PTA会長	学校医	学校歯科医	学校薬剤師

【お知らせ】「学校保健」は年6回（奇数月）の発行です。学校保健委員会の参考に学校三師の方々へもご回覧ください。

令和2年度

公益財団法人
日本学校保健会

全国健康づくり推進学校表彰

— 最優秀校紹介 —

**ねばり強くやり抜く
心もからだもタフな子どもの育成**
～学校・家庭・関係機関の三者協働で
取り組む健康教育～

岩手県二戸市立福岡小学校



東日本大震災を教訓として、「チーム福小」で将来の健康に通じる健康教育を継続しています。学校保健委員会を主軸とし「健康のことを学んで楽しい!」と思えるような活動の工夫をしながら、「タフ!」な子どもの育成を目指しています。

**学校の強みを生かした
健康教育の推進**

～「自分で・自分たちで」取り組む
生活習慣づくり～

岐阜県岐阜市立三輪南小学校



本校の強みを生かしながら、子どもたちが「自分で・自分たちで」行う生活習慣づくりに取り組んでいます。コロナ禍で制限があっても、地域・家庭と連携を図り、生活環境の整備や歯みがきの確かな習慣化などに取り組んでいます。

**ヘルスプロモーションによる
生きる力の育成**
～歯と口腔の健康づくりを核にした
ヘルスプロモートングスクールの実践～

岐阜県山形市立桜尾小学校



学校、家庭、地域、関係機関が一体となり、「歯と口腔の健康づくり」を核に、組織で取り組む健康教育を実践しています。子ども自らの「気付き」を大切にしなが、家庭、地域へつながり、広がる「健康づくり」を今後も継続していきます。

自他の命を大切に、共に生きようとする生徒の育成

～心の健康教育の推進と生徒主体の
いじめ防止活動を通して～

群馬県高崎市立倉淵中学校



地域の皆様方や、幼・小・中の連携した健康教育の取組を継続する中で、人権教育を根幹に据えた「心の健康教育」を通して、「命の教育」「自殺防止」「いじめ防止」を推進し、温かい人間関係づくりに取り組んでいます。

**笑顔輝く鳥商生・地域に貢献できる
社会人となるために**

～基本的な生活習慣を確立し、
基礎体力を高める実践～

鳥取県立鳥取商業高等学校



「基礎体力を高める実践」と「生徒が主体となる活動」を通して、責任感・協調性・忍耐力・チャレンジ精神等を培ってきました。コロナ禍での進路（就職率・進学率100%）にも反映されており、今回の受賞は生徒他関係者の励みになります。写真は、基礎体力を高める実践「商高体操」

**学校全体で取り組む保健教育を
目指して**

～障害特性に応じた工夫と主体的・
対話的で深い学びを通して～

愛知県立三好特別支援学校



障害特性に応じた手作り教材を中心に、学校全体で系統性を持たせた学習を実践しています。今後も「健やかな体」「豊かな心」の育成を目指し、児童生徒が「学ぶことの楽しさ」を感じる健康教育の充実に努めていきます。

令和2年度の審査を終えて

審査委員会小委員長 **村田 光範**



最優秀校について、二戸市立福岡小学校は「児童数310名：児童それぞれが東日本大震災を教訓に命を守り抜き、そのことを夢や理想を実現させる資源として健康づくりに励んでいること」、岐阜市立三輪南小学校は「児童数577名：歯科保健、学校環境衛生、食育、運動習慣づくり、安全などの諸活動においてコミュニティスクールを核としてバランスよく取り組んでいること」、山県市立桜尾小学校は「児童数74名：自学・自働・自鍛を教育目標として歯と口の健康づくりを中心に、学校・行政・家庭・地域関係機関がともに連携して取り組んでいること」、高崎市立倉渕中学校は「生徒数58名：人間尊重の精神に基づき心ゆたかに自己実現をめざす生徒の育成を学校教育目標として健康づくりに多面的に取り組んでいること」、鳥取県立鳥取商業高等学校は「生徒数543名：望ましい職業観、勤労観を身につけ、知・徳・体のバランスのとれた次代を担う若者を育てるために、学校行事を通して人間力を培っていること」、愛知県立三好特別支援学校は「在籍数319名：児童生徒の個性とニーズを踏まえた上で各自の障害特性を把握し、子どもたちの主体的活動を支援していること」が特徴的であった。

特別協賛社賞について、横浜市立嶮山小学校は「学校と地域が一体となり健康づくりを推進してきたこと」、宇土市立網田中学校は「家庭や網田地区保小中連絡協議会と一体となり健康づくりを推進してきたこと」が評価された。

令和3年度においても、引き続き特色ある学校の応募を期待しています

特集

学校保健とヘルスリテラシー

(第5回/全5回予定)

児童生徒の生活習慣とヘルスリテラシー

産業医科大学 産業保健学部 准教授 江口 泰正

1. はじめに

近年、医療や保健、そして教育の分野等で「ヘルスリテラシー」が注目されてきている。ヘルスリテラシーの定義については本特集の第1回で瀧澤先生がすでに解説くださっており、ここで詳しくは述べないが、「ヘルスプロモーション」や「健康教育」との関係性に着目した捉え方について紹介しておく。これは広く知られた複数の定義とは一線を画すものだが、容易に理解できて覚えやすいことも重要であることから、筆者が試案として紹介しているものである^{1,2)}。そのベースとなるものは、WHOのバンコク憲章(2005年)において提唱されたヘルスプロモーションの定義「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにしていく過程(プロセス)」³⁾である。WHOのヘルスプロモーション用語集(1998年)⁴⁾においてヘルスリテラシーの定義を紹介したNutbeamは、ヘルスリテラシーをヘルスプロ

モーションの成果の1つと位置づけている⁵⁾。このことから、ヘルスリテラシーはヘルスプロモーションという過程を通して得られた能力、つまり「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにしていく『能力』」と捉えることができる。一方、「教育」とは、(諸説があるものの)「人が社会で自立していくための『支援』」という捉え方ができ、「健康教育」はヘルスリテラシーという能力を向上させることへの支援、すなわち「自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるように『支援』していくこと」と捉えることができる。このように、ヘルスプロモーションを「過程」、ヘルスリテラシーを「能力」、健康教育を「支援」とだけ覚えておけば、3者のおおよその意味をイメージすることができる。

2. ヘルスリテラシーを高めるための教育の在り方について

人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにしていくためには、どのように支援すれば良いのか。これまで行いがちだった方法として、望ましい健康行動(生活習慣)に関する情報を伝えるのみ、ということではなかったであろうか(図1)⁶⁾。しかし、人々が社会で自立していくためには、自らが健康的な行動を選択して実践していくことが大切となる。読者の多くが理解しているように、望ましい健康行動(生活習慣)という「答えを伝えるのみ」では、人々が自ら行動を起こす可能性は少ない。健康教育の基本として、まず人々のヘルスリテラシーを高めることへの支援と、「生きる力」にもつながる強いモチベーション(学びに向かう力)への支援が必要であろう(図2)。

ヘルスリテラシーを高めることへの支援法としては、自らが望ましい健康行動を選択してい

くまでの局面を理解し、そのそれぞれの局面に応じた支援法を心がけることが求められる。ヘルスリテラシーをその局面という切り口から要素分類すると、Nutbeam⁴⁾のヘルスリテラシーの定義の中では「入手」「理解」「活用」と示されているし、またSorensenら⁷⁾は、これに「評価」を加えた「入手」「理解」「評価」「活用」の4つを示している。これらを前提にすると、ヘルスリテラシーを高めるためには、質の高い健康情報を「入手」する能力、その情報を目的に応じて偏見なく「理解・評価」する能力、

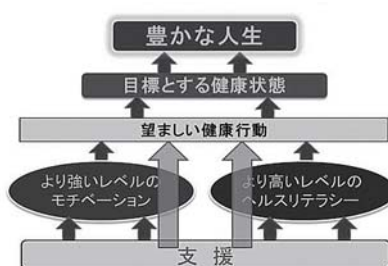


図1 近年の健康教育に見られた傾向 (文献6より)

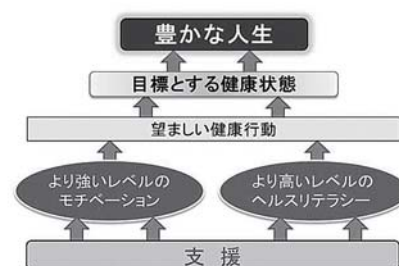


図2 ヘルスリテラシーに着目した健康教育の基本 (文献6より)

そしてそれらの情報を総合的に判断して有効に「活用」する能力という、それぞれの局面に関わる能力向上が重要となる。これらを「新しい学習指導要領の考え方(文部科学省 2017)⁸⁾」で示されている「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」に関連させるとどうなるであろうか。「入手」⇒「知識」、「理解・評価」⇒「思考力・判断力」、「活用」⇒「技能」や「表現力」を含む総合力、などにつながるのかもしれないが、これらに関しては今後の議論が必要であろう。そして「学びに向かう」モチベーションも同様に重要であり、筆者もこの点に近年注力しているが、今回は紙面の関係で割愛する。

加えて申し添えておきたいことは、バンコク憲章でのヘルスプロモーションの定義³⁾の要点として「自らの健康」だけでなく「その決定要因」という視点が加えられていることである。これは、人々の生活習慣のみに着目す

るのではなく、健康に影響を与える社会的・環境的な要因にも着目することの重要性を意味している。すなわち、児童生徒におけるヘルスリテラシー向上に関しても、自らの生活習慣への意識に加えて、高学年になるにしたがって周囲の環境や組織・集団のあり方にまで目を向けていくことができるように支援していくことが望まれるということになる。さらに、1986年のオタワ憲章においては「ヘルスプロモーションは健康分野の固有の領域とだけでなく、健康的なライフスタイルを越えて幸福へと向かうものである」と結んでいる³⁾。ヘルスプロモーションの最終目的は人々の自己実現や豊かな人生にあり、健康はその資源や手段の一つに過ぎない。ヘルスリテラシーという能力の中には、人生を豊かにする目標づくりに関する能力が含まれるべきであろう。単に疾病のリスクを予防・改善したり、体力を向上させたりすることだけにとどまらず、その先を見る視点が重要となる。

3. 批判的リテラシーの重要性

一方、同じく本特集第1回の記述内容で紹介された重要な観点として、ヘルスリテラシーの3つの階層があるが(機能的ヘルスリテラシー、相互作用的ヘルスリテラシー、批判的ヘルスリテラシー)⁵⁾、健康に限らずこれからの社会で特に重要となってくるとされるリテラシーが「批判的リテラシー(情報を批判的に分析し、日常の事象や状況をより広範にコントロールするために活用できる能力)」であると言える。近年では、膨大で多岐にわたる情報の中から求める情報を得ようと思えば、PCやスマホに向かって問いかけるだけでAI等によって瞬時に提示されるため、健康情報の「入手」について多くのエネルギーや技能を必要としない時代になりつつある。この先、AIやICTのさらなる発展に伴い、その精度は益々研ぎ澄まされていくことは間違いないであろう。しかしそれは同時に、人をだまして特定の個人や集団に利益をもたらすような誘導や誘惑も高度になっていくことを示しており、正しい情報と誤った情報との区別がつきにくい社会になっていくことをも意味している。このような情報社会においては、いかに情報を批判的にとらえ

て自分達に利益をもたらす情報だけを選択していきけるようにしていくのが一層重要になってくる。「批判的リテラシー」の向上が教育の中で強く求められているのである。このことを我々健康教育の関係者はさらに強く意識していくべき時代になってきている。

ヘルスリテラシー向上への支援は決して目新しいことではなく、これまでも多くの人々によって様々な機会や形式で実践されてきたことであろう。支援法自体のベースが大きく異なる訳ではない。しかしヘルスリテラシーという新しいパワフルなキーワードを絡め合わせることで、これまで培われてきた様々なノウハウというベクトルが一方に集約できれば大きな波を作り出していける。結果的に、学校保健や健康教育の一層の充実につながる事が期待される。そのためにも、優れた実践活動の情報が多く集められていくことが求められる。読者の中から学校保健や健康教育の分野でヘルスリテラシーに関する多くの実践報告・活動報告を(できれば論文形式で)公表していただける方が増えていくことを切望している(筆者自身への自戒の念も込めて)。

- 1) 江口泰正. ヘルスリテラシーと健康行動の変容. 総合健診. 2020; 47(6): 7-13
- 2) 江口泰正, 中田由夫 編著. 職場における身体活動・運動指導の進め方: 大修館書店. 2018; 1-11.
- 3) WHO. Milestones in Health Promotion: Statements from Global Conferences: WHO, 2009. https://www.who.int/healthpromotion/Milestones_Health_Promotion_05022010.pdf (2021/1/21最終アクセス)
- 4) Nutbeam D. Health promotion glossary. Health Promot Int. 1998; 13(4): 349-364.
- 5) Nutbeam D. Health literacy as a public health goal: a challenge for contemporary health education and communication strategies into the 21st century. Health Promot Int. 2000; 15(3): 259-267.
- 6) 江口泰正. ヘルスリテラシーと健康教育: ヘルスリテラシー 健康教育の新しいキーワード: 大修館書店. 2016, 57-69.
- 7) Sorensen K, Van den Broucke S, Fullam J, Doyle G, Pelikan J, Slonska Z, Brand H; (HLS-EU) Consortium Health Literacy Project European. Health literacy and public health: a systematic review and integration of definitions and models. BMC Public Health. 2012; 12(1):80.
- 8) 文部科学省. 新しい学習指導要領の考え方: 2017: https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afiedfile/2017/09/28/1396716_1.pdf (2021/1/21最終アクセス)

シリーズ 84

「健康教育をささえる」

～保健主事の現場から～

保健主事の役割と全国組織

全国学校保健主事会 理事長 佐伯 孝司

1. はじめに

私は今年度から全国学校保健主事会の理事長として、学校保健活動の活性化を保健主事の立場から広げていく役目をするようになりました。昨年度までは副理事長として組織的な活動を支える立場でした。また、兵庫県学校保健主事会の事務局・庶務・副理事長として平成13年から26年までの14年間関わってきました。健康教育を支えるための保健主事の活動と課題と展望をお伝えします。

2. 保健主事の役割

保健主事は、学校保健と学校全体の活動に関する調整や学校保健計画の作成と実施、学校保健に関する組織活動の推進（学校保健委員会の運営）など学校保健に関することからの管理に当たる中核的な教員であり、その果たすべき役割はますます大きくなっています。校長のリーダーシップのもと、養護教諭と保健主事が協力してその役割を十分に果たせるかどうか、学校の保健活動が機能するかどうかを左右するともいえます。また、保健主事にはP（計画）－D（実行）－C（評価）－A（改善）といったマネジメントサイクルを機能させる力量が求められています。

(1) 学校保健活動のマネジメント

学校教育活動にもマネジメントの視点からのアプローチが求められています。実際の学校保健活動においても、養護教諭の立場からだけでなく、保健主事の立場から学校保健活動全体をリードし、組織的に推進するためのマネジメントの基本的な理解と活用が求められています。学校保健活動を組織的に推進するための保健主事のマネジメントは、活動を一面的にとらえるのではなく、多角的な視野で活動を捉え、連絡・調整することが大切であり、多様な業務を踏まえた判断や行動が求められるのです。学校内にとどまらずPTAや地域との連携をマネジメントすることによって子どもの健康に関する啓発活動をおこないながら子どもの健康を守っていくことが重要です。

(2) 組織の確立と運営

学校保健活動は、校長の経営理念のもと、全職員がその重要性を理解し、保健教育・保健管理について計画的かつ組織的に取り組まなければなりません。そこで、校長の経営理念を踏まえ、学校保健計画を立案し、活動を推進していくミドルリーダーとしての保健主事が必要となるのです。保健主事は、学校全体の保健活動を組織的に推進するという役割を担うことになり、組織を動かすマネジメントの力量が必要となります。

特にコロナ禍においては、感染予防対策を適切に進める必要があります。授業や給食、休み時間、その他の場面においてその対策を学校内で講じることで子どもたちの学びを保障することができるのであり、保健主事の役割はより一層重要になっているのです。

3. 全国学校保健主事会の組織と活動

全国学校保健主事会（以後「全国」と表記）の組織は、都道府県と政令指定都市の学校保健主事会から成り立っています。令和2年度には全国に加盟している保健主事会は34あります。各府県市の学校保健主事会はそれぞれの地域の特徴にあった組織的な活動をしています。また、それらの保健主事会をブロックごとにまとめて、東北・関東・近畿・中国・四国・九州から代表理事を出して理事会を組織しています。理事会の運

営は会長・副会長・理事長・副理事長が行います。全国は、所属府県市から年間の負担金として10,000円をいただき、全国の活動資金としています。

全国の活動は、年間3回の理事会と1回の評議員会（理事会と兼ねる）をおこなっています。理事会では、主事会の運営についての報告や予算・役員等の組織について確認と決定をしています。研究大会に合わせて開催している評議員会では、各所属府県市の活動の状況（課題や組織・推進方法の工夫）を交流して、よりよい活動が各府県市でできるよう努めています。また、年1回各地域持ち回りで開催している研究大会では、研究発表校の取り組みから学んだり、健康・保健に関する講演を聴いたり、文部科学省の教科調査官からの行政説明を受けたりしながら、保健主事に求められていることは何か、子どもたちの健康の保持増進のためにどのような工夫ができるかを研修しています。

保健主事会の活動は子どもたちの健康の保持増進のための活動であり、各府県市にある学校保健会と協力をしながらよりよい活動を進めています。しかし、たくさんの府県市が全国に加盟していないという現状もあります。それぞれの府県市で学校には保健主事の配置があるが、保健主事の組織がない地域があったり、学校保健会の一部の組織として活動していたりと事情は様々なようです。全国としては、加盟組織率を上げ、保健主事の活動の活性化を図っていきたくと考えています。

4. 全国学校保健主事会の課題

全国への加盟府県市の数が徐々に減ってきているのが課題です。その府県市の学校では保健主事の活動が停滞してしまっているのではと気になっています。理事・評議員会で各府県市の活動状況を交流してそれぞれに活かせるようにしています。各府県市の評議員は各府県市の学校保健主事会の会長でもあるので、自分の府県市に会議内容をそれぞれの地域に持ち帰り、主事会の活動の活性化につなげています。

府県市の活動の一つとして兵庫県の組織について簡単に紹介します。他府県の方もご参考にしていただけたらと思います

5. 兵庫県学校保健主事会の活動

兵庫県の学校保健主事会は、県内の小中高約1,200校が所属しています。会長（1人）、副会長（4人）、理事長・副理事長・庶務・会計（各1人）、会計監査（3人）・事務局（1人）・各ブロック理事（9人）で理事会を構成しています。年3回の理事会を持ち、会務計画・予算の承認と執行を進めています。

各ブロックは県内を9つの地域に分け、ブロックの中には市郡町から1名の代表者（評議員）を出しています。理事と評議員が集まって年2回の総会を持ち、主事会の活動を進めています。各市郡町はそれぞれ独自に学校保健活動を行なっています。

また、各ブロックが持ち回りで研究協議大会を開催し、各ブロックの活動の発表から保健主事の資質向上をはかっています。兵庫県学校保健主事会の運営資金は各校からの分担金（500円）が主なものになります。その運営資金から、理事会・総会・研究協議大会の運営、近畿理事会・全国理事会への参加をおこなっています。これらの兵庫県学校保健主事会の活動は年間2回発行される会報を通じて各学校に報告されます。会報には各ブロック・各市郡町の活動状況、研修会の講師・講演内容なども載せていて、他市郡町の活動に連携が生まれています。

6. おわりに

保健主事の役割は子どもの健康を守るために重要な校務分掌の一つであるのに、全国・府県市での体制が脆弱であるという一面があります。保健主事の活動の活性化をはかるために県内の組織をより充実させてほしいと思います。また、コロナ禍にあっても子どもたちの健康の保持増進に期するために、現在全国に加盟していない府県市にはぜひ加盟していただき、学校に1名配置されている保健主事の活動の活性化を進めてほしいです。

全国健康づくり推進学校表彰校の実践⑥

子どもの心と身体の発達を促すための環境構成と援助の工夫 ～運動遊びを中心とした集団活動の充実に向けて～

令和元年度最優秀校 兵庫県立こぼと聴覚特別支援学校

1 学校紹介

本校は、聴覚にハンディのある幼児を対象とした県立特別支援学校である。全国で唯一、1歳から就学前の子どもの早期教育のための学校で、「保育相談部」、「幼稚部」そして地域の聴覚支援のセンター的機能を担う「相談セ

ンター部」から構成される。

豊かな体験活動を通して主体性を育みながら言葉と心を育てている。保護者支援も大切にして日々の教育活動に取り組んでいる。

2 学校経営方針と健康づくり

成長著しい幼児のために、教職員も学び続けて情報共有と共通理解を図りながら保育にあたっている。「保健」、「食育」、「栽培・美化」、「体育」、「環境構成」の部署が中心となって課題に対応しつつ、身体を十分に動かして体力をつけ、人・もの・ことがらに興味・関心を持た

せて子どもたちの心身の健康づくりを推進している。加えて、定期健康診断を中心に日頃から学校医の先生方のご指導を受け、学校保健委員会を充実させて、学校・家庭・医療が有機的に機能するよう心がけている。

3 特徴的な活動

行事、季節と関連した事柄、幼児の発達段階に即した内容、「卒業までに身につけさせたい力」の目標に向けて計画を立て、全体指導と個別指導を通して実践している。

(1) 保健安全の取組

- ・毎朝の幼児の登校時に、養護教諭らが健康観察と保護者からの情報収集を行い、目視確認などの交通安全指導も併せて行っている。
- ・幼児全員の成長曲線を学校医に見ていただき助言をいただいている。
- ・弱視予防のため、4歳になったら屈折異常が無いか検査をするよう学校眼科医から勧めいただき、保護者の理解啓発に繋いでいる。



歯磨き指導

(2) 学校保健安全委員会の取組

学校保健安全委員会では、健康指導などの取組の他、発生した疾病や保健室利用状況を報告し、学校医全員から指導助言をいただいている。

研修テーマをその時の健康課題に合わせて選び、保健講話もしていただいている。昨年は歯科健康診断等で、う歯と唾液が少ない点を指摘していただいたことから、食習慣や生活習慣などについて保護者に事前アンケートを取り、それに基づいて委員会開催時に歯科研修会をしていただいた。さらに希望者に「食べ物調査」を実施して虫歯予防のための食習慣への意識づけを図るとともに、個別指導をしていただいた。

(3) 食育

食育推進委員会を設置し、学校給食、保育、職員研修、保護者との連携及び学校医との連携を通して食に関する指導に学校全体で計画的に取り組んでいる。楽しい雰囲気の中で食事をとりながら、望ましい食習慣や態度を身につけることを目標に行事・季節に配慮して計画を立て、子どもたちが皮むきをした野菜を給食に利用、学校の畑で栽培した野菜の調理・喫食を通して季節感や命を大切にすることに繋いでいる。

外部講師を招聘しての講演会「台所から育つ生きる力」や、「ちくわを作ろう」講習会を実施した。魚の姿がちくわに変わっていく様子を、幼児は驚きを持って凝視していた。親子でコミュニケーションを取りながら食事の準備をし、家庭で子どもたちがお手伝いをするヒントとしている。

アレルギーに関しては、アレルギー対応マニュアルを作り、職員研修を行っている。

(4) 医療との連携

難聴児の早期支援のため職員の資質向上研修会を実施した。「難聴の早期発見とその後の教育について」「人工内耳の最新情報について」等、早期教育の重要性と言語獲得についてや医療の最新の知識を得、「睡眠の重要性について」医師の方から学び、日々の教育活動に生かしている。

また、地域における聴覚障害児教育のセンター校として、医療機関と連携し、個別の幼児についてカンファレンスを行っている。

(5) 関係機関との連携

保健所・消防署・市役所・警察署と連携をとり、歯磨き指導・防災避難訓練・子育て支援・交通安全と防犯研修などに取り組んでいる。

4 特徴的な活動、特色ある取組

「なかよしあそび」

「子どもの主体性を育てる遊びのあり方」を考える中で、本校の子ども達の俊敏性や体力の不足、協応動作等の不器用さといった実態が明らかになってきた。子ども達は言語活動に多く取り組んでいるため、着席している時間が長く、身体を動かす時間が同年代の子ども達と比

べて少ないのではないかと考え、サーキットやリズム運動とルールのある遊びを組み合わせ「なかよしあそび」と名付け、昨年度より実施した。運動効果が認められたことと、集団でのびのび活動できることから、一日の始まりの朝の時間を異年齢集団活動「なかよしあそび」の時間とし、今年度から毎日運動遊びを続けている。

【なかよしあそびの様子】



【なかよしあそび年間計画】

	サーキット	リズム運動	ルールのある遊び	マット運動
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・遊具や運動具に親しみ、色々な運動に興味をもって活動する。 ・色々な運動の仕方をも身につけ、友達とルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・平均台くぐり ・フープ跳び ・雑巾がけ ・テープくぐり ・ケンケンパー ・片足立ち ・手押し車 	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご渡り ・肋木のぼり ・平均台渡り ・けんけん ・両足跳び ・あひる歩き ・長縄 	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミック (動物になろう) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あつまり遊び ・玉入れ ・宝運びゲーム ・しっぽとり
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友達との触れ合いを深める。励まし合ったり競い合ったりする。 ・目標をもってあきらめずに取り組み、成就感、満足感を味わう。 ・順番やルールを守って、集団遊びを楽しむ。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・けんけん ・あひる歩き ・長縄 ・鉄棒(ぶら下がり) ・鉄棒(懸垂) ・カエルジャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・片足立ち ・手押し車 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムジャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっぽとり ・鬼ごっこ ・ころがしドッジ
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けずに、戸外で元気いっぱい体を動かす。 ・自信をもって運動に取り組む。最後までやり遂げる。 ・友達と相談し、協力し合い、自分たちで遊びを進める。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン ・長縄 		<ul style="list-style-type: none"> ・しっぽとり ・地藏鬼 ・鬼ごっこ ・だるまさんがころんだ ・ころがしドッジ 	

5 成果と今後に向けて

(1) なかよしあそびの成果 (☆は保護者アンケートより)

①体力面

- ・体力が付き、校外学習等でしっかり歩けるようになってきた。
- ・身のこなしがスムーズになり、周りの状況を見て走ることができるようになった。

☆バランスがよくなった。疲れにくくなった。

②生活面

- ・早く登校できる子どもが増えた。
- ☆食事が増えた。活発になった。
- ☆時間への意識が高まった。
- ☆熟睡できるようになった。夜泣きがなくなった。

③心理面

- ・友だちを意識して、相手のペースに合わせてという姿が見られるようになった。
- ・友だちと協力し合い、考え相談して片付けができるようになってきた。
- ・異年齢児で誘い合って中庭に行き、一緒に鬼ごっこを楽しむ姿が見られた。
- ☆新しいことでも「したい」と言うことが増えた。
- ☆休日に近所の友だちと公園で鬼ごっこなどをして遊べるようになった。
- ☆子ども同士の縦のつながりが密接になった。

☆行動より言葉で伝えるようになった。

☆友達とのかかわり方がスムーズになった。

(2) 今後に向けて

2年目となる「なかよしあそび」の取組内容、指導方法などを蓄積して子どもたちの意欲を引き出し、子どもたちの実態に合わせて常に吟味しながら身体作りを進める。さらに、友達どうしや異年齢間のやりとりを活発にしてコミュニケーション力をつけると共に主体性を育む。楽しみながら体力作りを通して、共感の心や相互に思いやる意識も育てていきたい。

幼児期は、生涯にわたる基本的な生活習慣を確立するうえで重要な時期である。保健・運動・食育を軸に、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方の助言をいただきながら保護者とも協働して子どもたちの心身の健康づくりのための活動を推進していきたい。



医師による研修会

コロナ禍での学校行事への 学校医の関わり方

～学校医よ、今こそ Go to school !～

南寿堂医院 院長

静岡県 小山町立小山中学校・成美小学校・県立小山高校 学校医 岩田 祥吾

2020年 全国一斉臨時休業

昨年、学校は総理により3月2日～5月25日まで臨時休業が要請され、学校行事の中止や延期が余儀なくされました。現在も文部科学省の「学校の新しい生活様式」を参考にしながら切磋琢磨しています。同時に日本医師会は学校におけるコロナ対策のキーパーソンとして学校医の名を掲げました¹⁾。我々学校医は児童生徒と教職員を守ります。

そこで今回、学校と学校医が連携協働したコロナ対策を、僕が学校医を務める学校の事例とともに紹介します。その根底にある「地域の子どもたちは地域が守る」「学校と行政と医師会が三つ巴で守る」という普遍的な精神を共感して頂けたら幸いです。

最初に まとめ

(注：学校行事を行うのは学校なので主語は学校)

- 1) 学校は学校医と相談した上で感染症対策を講じ、かつ健康教育に努める。
- 2) 学校はあらゆる事態を想定しながら、思い切り準備を重ねる。
- 3) 学校はコロナ対策を徹底した上で伝統を重視し、児童生徒の思いをかなえるために学校医や保護者・地域と連携しながら実現を目指す。

コロナ禍における連携体制の構築

1) 医師会・学校医との連携

当地域(御殿場市・小山町)のコロナ禍における学校行事は、地区の教育長会が基本方針を打ち出し、校長会で議論を重ねながら学校へ持ち帰り、各校が学校医と感染症対策を講じながら企画・実行しています。以下に手順を示します。

- ① 地元医師会と教育委員会が定期的に相談できる場を設け、毎月定期的に打ち合わせをしています²⁾。
平時・有事の学校保健対策における意見交換の場として機能し、コロナ対策もここで相談します。
- ② 上記事項を教育委員会が各学校に伝達し、学校は学校医と情報交換します。
- ③ 情報交換の場は学校医の職務である健康相談を活用します³⁾。
- ④ 学校医は以上を聞いた上で指導・助言します。各校の感染対策マニュアルも学校医と一緒に作成すると良いです。

2) 保護者・地域との連携

- ① PTA総会や保護者への各種説明会において、学校が学校医と連携していることを伝えると保護者は安心し、理解が得られやすくなります。

- ② 学校HPや学校だより等で学校・生徒・保護者・地域の頑張りを伝えると、保護者や地域は連携協力しやすくなります。

事例紹介(小山中学校：全校生徒200名)

1) 2020年3月19日 エールの交換～感動の巣立ち

昨年の卒業式対応は全国各学校で様々でした。当地域はコロナ対策を徹底した上で卒業式の3日前から学校を再開しました。その結果生徒たちは能動的に行動し、9年間の義務教育に花を添えることができました。

まず卒業式の2日前、式の練習終了時に突然、卒業生全員が先生方の前に出て感謝を込めたサプライズ合唱を披露しました。曲はいきものがかりの「ありがとう」です。休業中に卒業生がクラスの壁を越えてオンラインで連絡を取り合い各人各家庭で練習したそうです。

さらに翌日、今度は3年生の担任と音楽教員の3名が、ギターとドラムスとボーカルの演奏で卒業生を激励しました。生徒と先生は同じことを考えお互いマル秘で行動しエールを交換し合ったのですね。この筋書きのないドラマの連続は間違いなく生徒と学校の心を育てました。3日間の登校日があって本当に良かったです。

このようにして卒業式当日を迎えました。来賓の参列は中止の連絡がありましたが、学校医は非常勤職員なので出席しました。学校は僕の席を教職員席に設置していました。

会場の体育館は感染予防のため窓は全開、保護者の人数制限して椅子の間隔を広くし(図1)、入場者はマスク着用、養護教諭による非接触型の検温(図2)と、職員・生徒による手指アルコール消毒も行いました。式の時間は短縮されましたが卒業証書は校長から卒業生一人ひとりに授与され、在校生も全員参列、送辞・答辞そして合唱も行いました(図3)。以上の方式は学校医の僕にも事前相談があり、感染状況と予防対策の確認そして熱意を考慮しすべて同意していました。その結果、担任の呼名に対する卒業生の返事は大きく立派で、涙の答辞や心のこもった合唱が会場全体の心を打ちました。そして卒業生は、安心・充実して巣立っていきました。

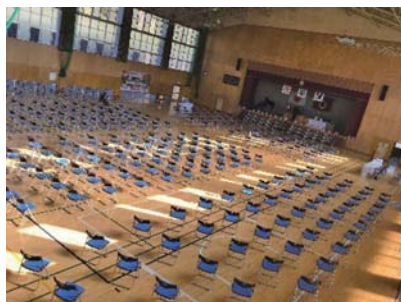


図1：窓全開・広い椅子間隔



図2：マスク・検温・消毒



図3：卒業生の合唱

2) 2020年9月18日 伝統の合唱は天に届いた

学校祭に対しましては、体育祭は縮小開催、文化祭は行うが合唱は原則中止という基本方針でした。しかし本校の最大の売りは「挨拶、部活、合唱」なのです。そこで本校は合唱の実現を目指しオンラインで生徒総会を開催。心意気をスローガンに示しました。百花繚乱をもじって「百歌繚走(RUN)」です(図4)。歌=合唱と走=体育祭を行うことを学校内外にアピールしたのです。今回も学校医の僕に事前相談があり、コロナ対策を徹底し無観客であっても学校祭(体育祭と文化祭)を開催したい情熱に賛同(感動)しました。同時に学校医の



図4：百歌繚走(体育祭)

職務である感染症予防の確認および校長の求めによる救急処置を前向きに行う決意が固まり、即当日の参加を表明しました。

学校祭はとにかく素晴らしかったです。生徒たちの花が見事に咲き誇りました。特に会場の体育館全体を使った全校全員合唱は圧巻でした。曲は東日本大震災の被災校が作った「群青」です。その一節「当たり前が幸せと知った」という歌詞が印象的で、美しく優しく力強い合唱は全開の窓から風に乗って天に届くようでした(図5・6)。伝統にこだわって本当に良かったです。保護者へは学校HPから動画発信し高評価を受けました。



図5：全校全員合唱



図6：体育館全体で合唱

求められる「相互の」前向きな姿勢

以上は、当地域の教育委員会と学校が学校医と相談することを日常としているからこそ話が進み実現しました^{2,3)}。実際僕には養護教諭だけでなく校長や教育長そして生徒(生徒会・保健委員会)からも相談がありました。コロナ対策はすでに卒業式で完成していたので僕の仕事は思い切り学校の背中を押すことと学校医として最大限に連携協働すること、すなわち学校に行くことだけでした。そうです、このように学校と学校医双方が前向きになると、学校も生徒も保護者も安心して行動できるようになるのです。その結果生徒たちは感染症対策を学び実行しながら、充実した学校生活を送ることができるのです。

学校は学校医になんでも相談を。そして学校医よ、今こそGo to school!

コラム 小学校のプール授業

当地域は、教育委員会・園・学校・医師会が話し合い、コロナ対策を徹底したうえでプールの授業を行うことを決めました。ソーシャルディスタンスがしっかりしていますね(図7)。

授業は水の事故防止にもつながります。

(成美小学校)



図7：プール授業

コラム 高校の熱中症予防講座

昨年は猛暑酷暑のため、コロナ禍とはいえ熱中症対策が必須でした。そこで学校医を務める高校で毎年行っている熱中症予防講座を6月に開催。密となる体育館を避け3階の空



図8：空き教室から配信



図9：各教室で聴講

き教室から各教室にオンラインで配信しました(図8・9)。生徒たちに伝わっているかな…。最後のスライドの直後、廊下や全開の窓を通じて大きな拍手が聞こえてきました。嬉しかったです。(小山高校)

令和3年度全国学校保健会中央大会

令和3年2月12日現在

*開催日・会場は主催者の都合により変更することがあります。

	大会名	開催日	開催地	会 場
ブロック別大会	第68回北海道学校保健・安全研究大会 十勝(帯広)大会	令和3年11月14日(日)	帯広市	<全体会・講演会> 帯広市民文化ホール <分科会> とかちプラザ
	第54回東北学校保健大会	令和3年8月17日(火) ~ 23日(月)	福島県福島市	動画配信
	第72回関東甲信越静学校保健大会	令和3年8月5日(木)	茨城県水戸市	動画配信 配信会場：ザ・ヒロサワ・シティ 会館
	第53回北陸三県学校保健研究協議会	(次期開催：令和5年度)	(福井県)	未 定
	第42回東海ブロック学校保健研究大会	令和3年10月13日(水)	愛知県名古屋市	ウィルあいち
	第43回近畿学校保健連絡協議会	令和3年7月29日(木)	大阪府	大阪市中央公会堂
	第66回中国地区学校保健研究協議大会	令和3年度全国大会を兼ねる	—	—
	第22回四国学校保健研究大会	令和3年8月6日(金)	愛媛県松山市	愛媛県民文化会館
	第19回九州地区健康教育研究大会	令和3年8月2日(月) 8月3日(火)	沖縄県浦添市	浦添市てだこホール ※動画配信の可能性あり
第72回指定都市学校保健協議会	令和3年5月16日(日)	相模原市	動画配信及び書面開催予定	
全国大会・職域(団体)別大会	令和3年度全国学校保健・安全研究大会	令和3年10月28日(木) 10月29日(金)	岡山県岡山市	1日目 岡山シンフォニーホール 2日目 ビュアリティまきび ホテルメルパルク岡山 アークホテル岡山
	令和3年度全国学校保健会中央大会	令和3年10月29日(金)	岡山県岡山市	ビュアリティまきび(予定)
	第71回全国学校歯科医協議会	令和3年10月28日(木)	岡山県岡山市	ANAクラウンプラザホテル岡山
	第71回全国学校薬剤師大会	令和3年10月28日(木)	岡山県岡山市	三木記念ホール
	第52回全国学校保健・学校医大会	令和3年10月30日(土)	岡山県岡山市	三木記念ホール、 ホテルグランヴィア岡山、 岡山コンベンションセンター、 国際交流センター (予定)
	第85回全国学校歯科保健研究大会	令和3年10月21日(木) 10月22日(金) ~ 1か月程度(予定)	東京都	1日目：オンライン開催 配信会場：有楽町朝日ホール 2日目以降：動画配信
	令和3年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	令和3年10月14日(木) 10月15日(金)	奈良県奈良市	なら100年会館
	第64回全国学校保健主事研究大会	令和3年7月30日(金)	山口県岩国市	シンフォニア岩国
	全国養護教諭連絡協議会 第27回研究協議会	令和4年2月25日(金)予定	東京都港区	メルパルクホール(予定)
	令和3年度 全国学校保健会運営担当者会議	令和3年4月16日(金)	東京都港区	WEB開催予定
	全国健康づくり推進学校表彰式	令和4年2月5日(土)予定	東京都文京区	日本医師会館(予定)
	公益財団法人日本学校保健会事業報告会	令和4年2月24日(木)	東京都港区	未 定

令和2年度

日本学校保健会事業報告会

主催/公益財団法人日本学校保健会

参加者募集

詳細・お申込みは、本会HPか
学校保健ポータルサイトで!

方 式：オンデマンド配信

配信期間：令和3年2月18日(木) ~ 3月31日(水)

申込期間：令和3年2月18日(木) ~ 3月31日(水)

対 象：

都道府県・指定都市学校保健(連合)会、
都道府県・指定都市教育委員会関係者、
教職員、研究者 等

参加費：無 料

日本学校保健会の事業報告のほか下記当該委員会より
成果物やシステムに関する解説等を配信しています。

委員会報告	
委員会報告①	『学校保健の課題とその対応』の改訂について
委員会報告②	「学校等欠席者・感染症情報システム」について

令和2年度公益財団法人日本学校保健会賛助会員 (各五十音順)

令和3年2月17日現在

本年度の本会賛助会員にご加入いただき、誠にありがとうございました。

法人賛助会員

アサヒビール株式会社様
 味の素株式会社様
 大塚ホールディングス株式会社様
 オムロンヘルスケア株式会社様
 オハヨー乳業株式会社様
 花王株式会社様
 カバヤ食品株式会社様
 株式会社アルポース様
 株式会社内田洋行様
 株式会社オプテクス様
 株式会社学研教育みらい様
 株式会社ぎょうせい様
 株式会社サンギ様
 株式会社スミノエ様
 株式会社メニコン様
 株式会社文渓堂様
 株式会社リーバー様
 株式会社ロッテ様
 株式会社ワコール様
 キッコーマンバイオケミファ株式会社様
 JCRファーマ株式会社様
 シキボウ株式会社様

四国化成工業株式会社様
 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
 ビジョンケアカンパニー様
 大幸薬品工業株式会社様
 中外製薬株式会社様
 東京書籍株式会社様
 東ソー株式会社様
 東洋羽毛工業株式会社様
 南海化学株式会社様
 日産化学工業株式会社様
 日本アルコン株式会社様
 日本コカ・コーラ株式会社様
 日本曹達株式会社様
 バイオジェン・ジャパン株式会社様
 ペルノ・リカルル・ジャパン株式会社様
 HOYA株式会社様
 マルホ株式会社様
 森永製菓株式会社様
 山本光学株式会社様
 ライオン株式会社様
 ロート製薬株式会社様

個人会員

柏井 真理子様
 菊池 信太郎様
 菅尾 光子様
 高石 昌弘様
 高橋 達行様
 津田 正治様
 土器屋 美貴子様
 戸田 芳雄様
 野溝 正志様
 福下 公子様
 藤居 正博様
 松下 卓郎様
 松田 峻一良様
 宮浦 徹様
 向後 利昭様
 村松 章伊様
 他 匿名1名の皆様

団体賛助会員

一般財団法人電気安全環境研究所様
 一般社団法人日本コンタクトレンズ協会様
 公益財団法人神経研究所様
 公益社団法人日本眼科医会様
 公益社団法人日本プールアメニティ協会様
 ビール酒造組合様

学校保健用品等賛助会員

青山眼鏡株式会社様
 赤城工業株式会社様
 一般財団法人東京顕微鏡院様
 エクセル株式会社様
 エタニ産業株式会社様
 河合薬業株式会社様
 株式会社朝日エール様
 株式会社アルティナ様
 株式会社映学社様
 株式会社EDUCOM様
 株式会社カズサ様
 株式会社学校健診情報センター様
 株式会社環境衛生様
 株式会社三和製作所様
 株式会社サイバーリンクス様
 株式会社システムディ様
 株式会社システムリサーチ様
 株式会社少年写真新聞社様
 株式会社ピーカブー様
 株式会社ビッグウイング様
 株式会社ミニナム様
 株式会社両備システムズ様
 勝美印刷株式会社様
 スズキ教育ソフト株式会社様
 リオンテック株式会社様

公益財団法人日本学校保健会 令和3年度

賛助会員ご加入のお願い 学校保健をささえるご支援を!

本会では、本会の目的、事業に賛同される方々の賛助会員へのご加入をお願いしています。本会の賛助会員制度は、子どもたちのために事業活動を続ける本会の貴重な財務基盤の一つです。ご加入のお申込み・詳細は、本会のHPまたはお電話にてお問い合わせください。

※本会の賛助会費は、特定公益増進法人制度による会費の税制上の優遇処置を受けることができます。



詳細：<http://www.hokenkai.or.jp>
 問合せ：Tel. 03-3501-0968

虎ノ門(167)

今年の節分

本年2021年は124年ぶりに節分が2月2日であった。というよりも立春が2月3日であったというべきであろうか。暦法上の置閏、つまり同様の措置をとったのが1897年(明治30年)であったので124年ぶりというわけである。実はこの置閏に関わる暦法上の調整は比較的頻繁に行われていて、37年前の1984年(昭和59年)は逆に節分が2月4日、立春が2月5日であった。太陰暦のころには閏月があったし、現在の太陽暦でも閏年がある。なお、別に平均太陽時(世界時)と原子時計ではかった国際原子時とのずれを調整するために加えたり引いたりする閏秒が行われている。1972年以降に27回の閏秒が1月1日と7月1日のどちらかで行われてきた。直近の閏秒は2017年(平成29年)の1月1日に行われた。来年以降は閏年の翌年の立春の日が2月3日となり、節分が2月2日になる。次は2024年(令和6年)や2028年(令和10年)の翌年、つまり2025年(令和7年)や2029年(令和11年)の節分

が2月2日になる。因みに、2057年と2058年は2年続きで2月2日が節分となるらしい。詳しくは国立天文台のホームページの暦計算室サイトを参照されたい。

恥ずかしい話であるが、今年は「1日早い」という認識があったために、「間違えて豆まきを忘れてはいけない」との意識から、2月1日の夜に居間のこたつで思わず居眠りしてしまい、目が覚めた時にうっかりして慌てて豆まきしてしまった。さぞ近所は怪訝な思いだったであろう。

ところで、前回に2月2日が節分であった1897年(明治30年)は、4月1日に日本で伝染病予防法が制定された年である。この法律が1998年(平成10年)までのほぼ100年間にわたって日本の感染症対策を規定してきた。そして、今年もまた、Covid-19の感染拡大を阻止する観点から伝染病予防法を継承した「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」と「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が改正された。成立やその適用にさまざまな議論をよんでいるが、124年を経て同様の事態があったことに何か縁を感じるものである。(会報「学校保健」編集委員 瀧澤 利行)



安易なカラーコンタクトレンズの使用には注意!! ルールをまとめたリーフレットをご覧ください。

目の健康やコンタクトレンズに関する正しい知識のご指導などにぜひお役立てください。
学校保健ポータルサイトからダウンロードできます。
<http://www.gakkohoken.jp/CLguide>



コンタクトレンズの正しい使用と、眼科での定期検査を。
<https://acuvuevision.jp/goeyedoctor>

Johnson & Johnson VISION

©J&J KK 2021



参加無料

養護教諭さま向け オンラインセミナーのお知らせ



ツボミスクールの養護教諭コースを、オンライン形式(ライブ)で開催いたします。
ご自宅などお好きな場所から、どなたでもご参加いただけます。

リアルタイムで講座にご参加いただけない教員の方には、開催終了後、視聴URLをご案内いたします。
※視聴URLは事前にお申し込みが必要です

ツボミスクールを行っている講師が、女子児童や生徒・保護者への対応方法や下着指導について、わかりやすくご紹介いたします。ぜひご参加ください。

開催日 2021年3月26日(金) 15:00~15:45

開催形式 ZOOM オンライン

対象者 小学校、中学校、特別支援学校などの養護教諭さま・一般教員さま

費用 無料 定員 50名(先着順)

●詳しい内容や、お問い合わせ・お申し込みは【ツボミスクール】HPをご覧ください。

申込方法 ツボミスクールホームページ



お申し込みはホームページから!

ツボミスクール

検索

※スマートフォンからご利用いただけます。

【問い合わせ先】ワコールツボミスクール事務局

✉メールはこちら: tsubomi@wacoal.co.jp

ツボミスクールのテキストを リニューアルいたしました!

デザインが新しくなり、学びやすくなりました。
テキストの内容を網羅した動画もあります。
動画をつかって
ご指導されたいという方にもおすすめです。
下着指導のサポート教材としてぜひご活用ください。



詳しくはツボミスクールHPまたは
3月26日のオンラインセミナーにてご案内いたします。

WACOAL

●赤玉 日本学校保健会の推薦商品 透明度を高めます。(No.2) 藻を防ぎます。(No.5)

プール浄化剤 アクアピル

※無料サンプルを提供します。

●青玉



〒152-0022 東京都目黒区柿の木坂1-5-1
エタニ産業株式会社 TEL.03-5701-7272

Menicon 学校保健関係者の皆様へ

学校保健関係者専用の 情報サイトをご用意いたしました!

学校保健関係者専用情報サイト

CHECK!! 学校保健の現場で役立つコンテンツをご用意!

▶ <http://www.menicon.co.jp/gh/>



◆ 日本学校保健会推薦用品

ルモーネのゴア® 羽毛掛けふとん・合掛けふとん・肌掛けふとん、
ピュアライト・ダウン敷きふとん、ダウン敷きパッドは、
日本学校保健会の推薦用品です。

TUK 東洋羽毛工業株式会社
〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2-26-5
<https://www.toyoumo.co.jp>

お客様相談室 ☎ **0120-410840**

Lumone
ルモーネ



GOOD DESIGN HARUO DOWN

学校保健の最新情報を満載 一般書店等でも購入できます!

令和2年度版 学校保健の動向

特 集 新型コロナウイルス感染症流行と学校保健 ほか2編

- 第1章 健康管理の動向 感染症、児童生徒の発育・発達、眼科等科目別ほか
- 第2章 学校環境衛生の動向 学校環境衛生、学校給食の衛生管理
- 第3章 健康教育の動向 保健教育、安全教育、食育、エイズ・性教育ほか
- 第4章 学校保健に関する組織・団体の最近の動向
- 第5章 資料編 学校保健関連年表

■養護教諭、大学関係者必携 ■養護教諭養成課程の学生の採用試験対策としても最適

発行/日本学校保健会
2,800円(十税)

